別紙２

第五次伊東市総合計画・第十二次基本計画諮問案付帯意見

頁	指摘箇所	発言内容
39 40	政策目標１ 1 危機管理体制の充実 ③現状と課題　■現状 ・災害時の情報伝達手段の充実が求められています。 ④施策の方針 ・市民・観光客等が地震発生時に津波災害警戒区域外へ迅速に避難できるよう、ソフト対策の強化を図ります。 ・災害時において情報伝達を的確に行うため、情報伝達手段の多重化を進めます。 ⑥役割分担　■市民 津波から速やかに避難できるよう体制づくりに取り組みます。	・災害時の情報をまとめて、多言語で発信するページのＱＲコードを作成し、街中に掲示等をすれば、観光客や地域住民がすぐに情報を得られて便利である。 ・看板や歩道上の舗装等で表示する案内サインは、文字よりもピクトグラム等を推奨するべきだと考える。 ・旅館や宿泊施設においても避難所やハザードマップを日常的に示すことで、災害時に観光客が困らないような配慮が必要である。
42	政策目標１ ２　総合治水対策の強化 ②成果指標（KPI）河川が溢れる件数	伊東市内で河川が溢れる箇所は決まっているため、県とも連携して対応してほしい。

頁	指摘箇所	発言内容
59	政策目標２ ５　高齢者福祉の充実 ②成果指標（ＫＰＩ）	高齢者の幸福度は肝である。指標等を設定する際には意識していただきたい。
64	政策目標２ ７　地域福祉の充実 ⑤基本的な取組 民生委員児童委員による避難行動用支援者への支援活動	民生委員と町内会の協力のもと、災害時のことを考えるべき。大室高原の民生委員の間では、個別（個人単位）で避難計画が作られている。そうしたことをやっていかないといけない。 民生委員と町内会の連携について、行政がリーダーシップをとって会合を設けるといったことをしてほしい。町内会だけに任せるのではなく、指示系統があるとよいと考えている。
69	政策目標３ １　自然との共生社会の推進 ③現状と課題	鹿の目撃件数がかなり多くなっているため、県にも働きかけながら個体数を把握し、獣害対策を進めてほしい。
69	政策目標３ １　自然との共生社会の推進 ②成果指標（KPI）　愛護動物の迷惑行為に寄せられる苦情件数	富士市に県の動物愛護センターがオープンするため連携してほしい。
71	政策目標３ ２　循環型社会の推進 ④施策の方針 ・ごみの発生、排出抑制と分別、資源化を促進するため、さらなる啓発を行います。	市民に対してリサイクル等に関する啓発を強化するとともに、廃棄物処理施設の更新も何かしらの計画内に盛り込んでいただきたい。
76	政策目標３ ４　安全でおいしい水の安定供給 ⑥役割分担　■行政	一般的な家庭では、給水袋を用意していることが少ないため、事前の準備が必要である。

頁	指摘箇所	発言内容
	・防災対策の一環として、広報紙等による水の備蓄の啓発や地域防災訓練を活用した応急給水訓練を行います。	
79	政策目標３ ５　魅力的な都市空間の創造 ⑤基本的な取組　空家等及び跡地の利活用	国では二地域居住が推進されているため、伊東市でも推進してほしい。
85	政策目標４ １　教育環境の整備③現状と課題 ④施策の方針 ・ICT を活用できる学習環境を整え、学校全体の情報環境整備を推進します。	今の子どもたちはタブレットに非常に慣れているため、子どもたちの感覚も大事にしながら、紙の教科書とタブレットの併用方法を模索したい。
85	政策目標４ １　教育環境の整備③現状と課題 ⑤基本的な取組 最先端の ICT 教育環境整備の充実（主な内容：大型提示装置（電子黒板）の小・中学校全普通教室更新）	電子黒板は長期間使えるようにすることと併せて、故障への迅速な対応により、授業に遅れ等の影響がないようにしていただきたい。
85	政策目標４ １　教育環境の整備 ⑥役割分担　■行政 ・子どもたちが安全・安心に学校生活を送れるよう必要な施設の適正管理・修繕・改修を行います。 ・未来を拓く子どもたちが、充実した教育環境で授業を受けられるよう、学校の規模・配置の適正化を進めるとともに、ＩＣＴ機器等の環境整備を行います。	長寿命化や公共施設の維持管理について、計画内で動向がわかると安心する。また、学校統合と学校施設の老朽化対策をパッケージにして考えていく必要がある。

頁	指摘箇所	発言内容
86	政策目標４ ２　未来を創る教育の充実（小・中学校） ②成果指標（KPI） 学校が楽しいと思う子どもの割合【小学校】／【中学校】（学校生活アンケート）	１人でも多くの子が楽しいと思って通学できることが不登校につながらなくなると思うので、より励んでいただきたい。
86	政策目標４ ２　未来を創る教育の充実（小・中学校） ③現状と課題　■課題	部活動の地域展開が進むと、何の活動にも参加しない子が増えていく恐れがある。 部活動の地域展開に関して、公認コーチの資格取得等には、費用や時間がかかるため、行政からの支援が求められるので留意が必要である。
87	政策目標４ ２　未来を創る教育の充実（小・中学校） ⑥役割分担　■学校 ・新学習指導要領で示されている、三つの柱（「知識・技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間性」）の育成を目指し、「主体的、対話的で深い学び」のある学習活動を推進します。	最新のＩＣＴ技術を使いこなす力を備えていきながらも、体験する、考える力、自立する力等、ＩＣＴで養えない部分も大切にしてほしい。 映像で見る分かりやすさと同時に、文章を読んで映像を想像するような力も大事だと思う。
88	政策目標４ ３　生涯学習活動の推進 ②成果指標（KPI） 「生涯学習活動の推進」に満足している市民の割合（市民満足度調査）	「『生涯学習活動の推進』に満足している市民の割合」の現状値が、前回は７４．７％、今回は６１．３％と大幅に減少しているため、努力してほしい。

頁	指摘箇所	発言内容
89	政策目標４ ３　生涯学習活動の推進 ④施策の方針 ・魅力ある図書館の構築を目指し、時勢・トレンドを反映した選書、交流スペースの創出、様々なイベントや企画展等を実施して来館者の増加を目指します。 ・図書館機能の充実や施設の充実、サービスを向上し、新規利用者や潜在利用者の利用を促進します。	実際に本を手に取って、頭で想像するというのは大切なことなので、様々な人が本に触れる機会を作っていただきたい。
90	政策目標４ ４　青少年の健全な育成 ②成果指標（KPI） 小・中・高生一人当たりの地域学校協働活動への参加回数	地域での活動に参加することで、地域との交流が生まれ、コミュニケーション能力等の向上につながるため、目標を目指して頑張ってほしい。
90	政策目標４ ４　青少年の健全な育成 ③現状と課題　■現状 ・青少年の健全育成においては、地域における生活環境も重要な要素の一つですが、ライフスタイルが多様化する昨今、地域とのコミュニケーションが希薄化しつつあります。 ・ＩＣＴ化の推進やＳＮＳツール等の普及に伴い、青少年が地域の中で、元気に活動する機会が減少しています。	伊東市内だけではなく、近隣の同年代との交流や、他市町の同年代との交流等、生の人との交流機会が減少している。

頁	指摘箇所	発言内容
91	政策目標４ ４　青少年の健全な育成 ⑤基本的な取組 声かけ・あいさつ運動の推進	あいさつができなくなっている子どもがいる。外に出て、明るく元気なあいさつができるような子どもが増えてほしい。
92	政策目標４ ５　市民スポーツ活動の推進 ③現状と課題	小室山運動公園について、小規模なグラウンド、もしくは観光利用など、整備を検討してほしい。
94	政策目標４ ６　歴史・芸術文化の振興 ④施策の方針 ・市民が本市の歴史に興味を持ち、進んで学ぶことができる学習機会の充実を図ります。	・伊東祐親、源頼朝、三浦按針等の歴史上の重要人物は取り上げてほしい。 ・伊東祐親、三浦按針、伊東市に別荘をもつ北里柴三郎について、伊東市にゆかりのある偉人としてより広めてほしい。
96	政策目標４ ７　郷土愛の醸成 ④施策の方針 ・高校・行政・地元企業の連携を継続・強化するとともに、関係団体等との連携を図り、高校生がまちづくりに参画する機会を作りながら、地域全体で高校生の郷土愛の醸成を図る環境づくりと未来を担う人材の育成機会の創出に努めます。	・地場産業を支える人材流出を止めるために、高校生あたりから、地場産業、仕事・職業に関して意識してもらう教育をすることが必要である。 ・小学校・中学校・高校の生徒が、伊東市が周りからどう見られているかを聞いていく、そういう視点の学びがあっても面白いと思う。

頁	指摘箇所	発言内容
98 ～ 103	政策目標５ １　地域資源の魅力向上 政策目標５ ２　新たな観光形態の構築・推進 政策目標５ ３　広域連携による誘客の拡充	大室山にインバウンド客が多く来ているが、その方たちは他の観光地を周遊しない。海外の方がどのようにして伊東へ来たのか分析を強化し、次の施策に反映させることが重要である。発信だけではなく、分析も大事なのではないか。
101	政策目標５ ２　新たな観光形態の構築・推進 ⑤基本的な取組	伊東は畳の旅館が多数ある。中国の方に日本の所作を伝えられるような工夫をし、情報発信とセットにして取り組んでほしい。一部の高級旅館では、浴衣の着付け、茶道などを体験できるところもあるが、こうしたことを広げていければいいのではないか。
107	政策目標５ ５　農林業の振興　⑥役割分担　■行政	ニーズに合った支援策とあるので、しっかりと農林業者の声を聞いていただきたい。
108	政策目標５ ６　水産業の振興	水産業も資材の高騰があり、補助金では追いつかないのが現状。 定置網が多い＝魚種が多いという特性がある。それをブランディングし、売り込んでいただきたい。
109	政策目標５ ６　水産業の振興 ⑥役割分担　■行政	水産業のイベント開催支援について、もう少し行政としても力を入れてほしい。観光や移住ともセットとなるので総合的にやっていただきたい。
111	政策目標５ ７　移住定住の促進・関係人口の拡大 ⑥役割分担　■市民（先輩移住者）	移住者同士のコミュニティよりも地域の人との交流が重要であると考える。地域とのコミュニケーションが重要なのではないか。

頁	指摘箇所	発言内容
111	政策目標５ ７　移住定住の促進・関係人口の拡大 ⑤基本的な取組	・伊東を出て行った子どもたちが戻ってこられるような施策、Ｉターンを促進するような施策についてもご検討いただきたい。 ・移住支援金について、他地区から移住者との不公平感がでないよう独自の補助金がある自治体もあるので、検討してほしい。 ・環境のよいところで子育てできる、しかも東京まで１時間半で行けるということは積極的に発信してほしい。 ・近年、別荘地の方から、ゴミステーションや上下水道等についての要望が多いが、開発行為許可の前提として、デベロッパーや管理会社の責任であったと思う。広大な市域にサービスを行き渡らせるとなると財政が破綻する。移住者も自分で選んで住んでいることを意識するべきではないか。 ・移住者に、あらかじめメリットとデメリットを明確に示すべきではないか。別荘地に住む際の注意事項を記載すべきであると思う。 ・神奈川で市営住宅をリノベーションした成功事例などもあるので、そのあたりも踏まえて施策を検討していただきたい。
118	構想の推進の３ 健全かつ持続可能な財政運営 ③現状と課題	「収納率については、平成 29 年度から大幅に向上させ、自主財源の確保につながっていますが、県平均から見れば依然低い数値にあります。」と書いてあるが、視点を変えて、地方税法に定められている滞納処分の執行停止について着実に対応していただき、収納率の向上につなげていただきたい。

第３期伊東市人口ビジョン・総合戦略諮問案付帯意見

頁	指摘箇所	発言内容
61	基本目標４　結婚・出産・子育ての希望をかなえる	Ｉターンや U ターンで子育てをしている漁業者も増えている。子育て世代を増やすことが伊東市を守ることだと思っている。自然があって、子育てがしやすいまちだということを伊東市として積極的に発信していただきたい。
56 ～ 61	基本目標４　結婚・出産・子育ての希望をかなえる	子どもたちへの対応としては、支援員や相談体制が今のままでいいというのではなく、今後ますますいろいろな対応や支援員の充実が必要になるため、ぜひご配慮をいただきたい。
56 ～ 61	基本目標４　結婚・出産・子育ての希望をかなえる	人口増を目指すにはどうしても自営業をやる人を多くするしかない。自営業は育休も産休も無いため、出産をすると収入が下がる。自営業者を大切にしていかなければならないのではないか。
63 64	基本目標５　時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する エ　生きがいづくり・介護予防の推進	介護予防活動に高齢男性は参加しにくい。男性が女性の輪に入っていくのは難しく、一人暮らしの方は外に出たがらないということがある。あまり友達もつくらないので、足腰等がだんだん弱くなる。男性の参加を増やしていくのが大事だと思う。